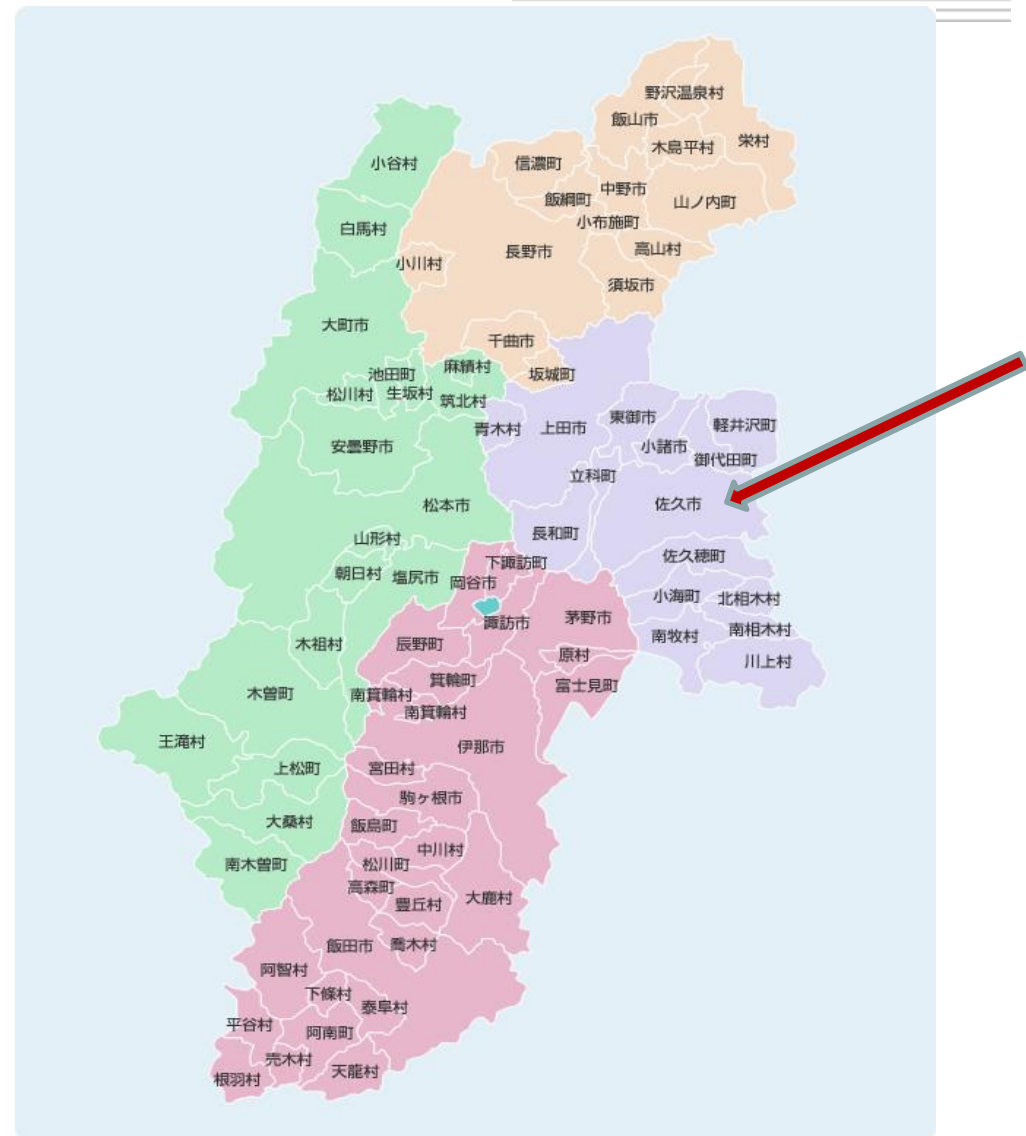




タイ、チョンブリ県における高齢者ヘルスケア ネットワークの検討 - タイ、チョンブリ県、サンスク町と長 野県、佐久市との国際協力活動 -

東田吉子¹, 竹尾恵子¹, 宮地文子¹, 小山智史¹, 宮崎紀枝¹,
宮原香里¹, 桶田真吾¹, 高野美穂¹, 坂戸千代子², 山崎ひろ子²,
吉江紀子², 植木美帆², Puangrat Booyanuraku³, Pornchai
Jullamate³, Mr. Naronchai Kunplome⁴, , Ms. Ratana⁴,
(1. 佐久大学、2. 佐久市、3. ブラパ大学 4. サンスク町)

地理的位置



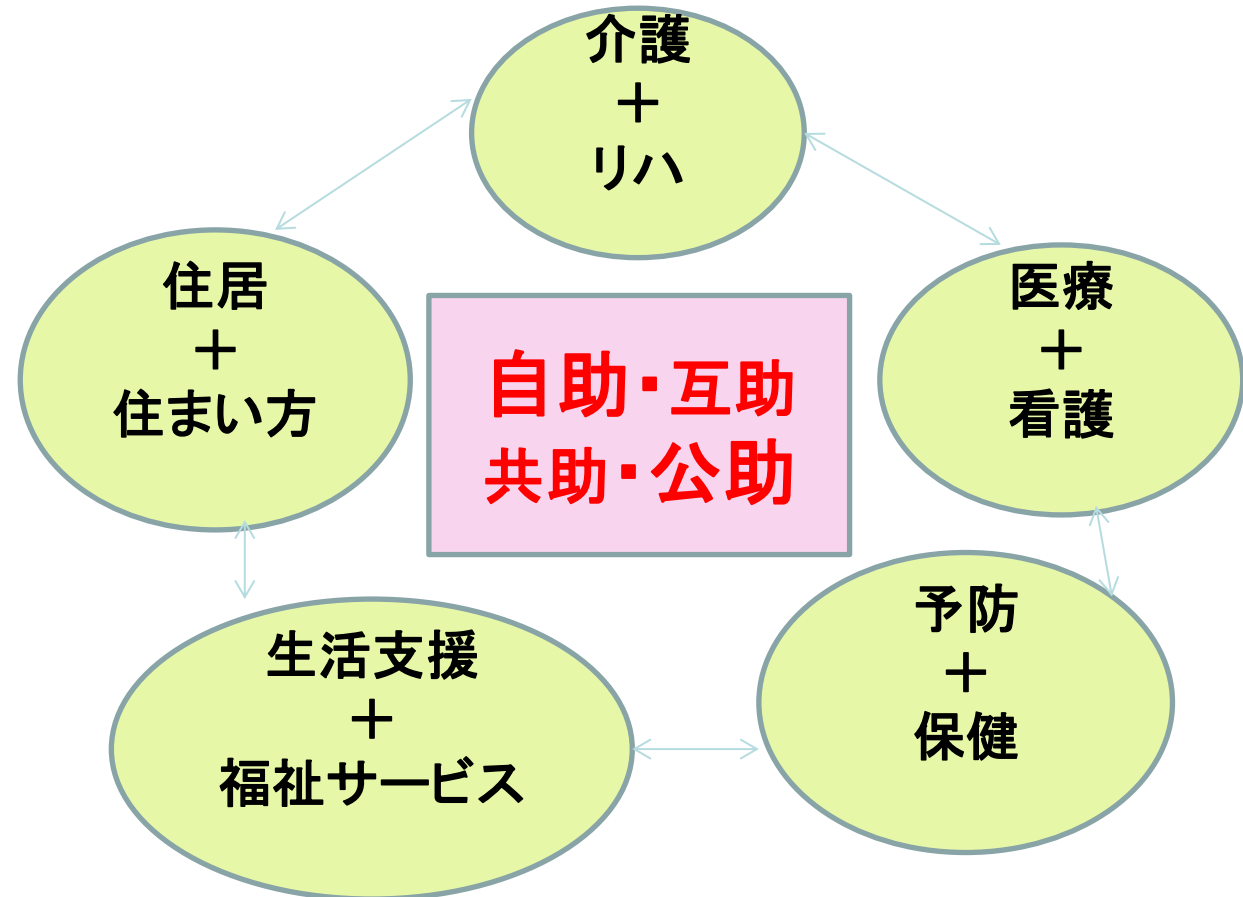


1. 加速する高齢化率に対応する行政の体制の違い

	長野県 佐久市	チョンブリ県サンスク町
人口	99,650人 (2015年4/1)	45,065人(2015年4/1) (実際の人口は、約12万)
高齢化率	27.9% (65歳以上、2014年10/1) 34.3% (60歳以上、2014年10/1) ↑(2035年 34.3%)	8.1% (65歳以上、2015年5/1) 12.5% (60歳以上、2014年) ↑(2032年 26.1%)
保健医療施設	病院 7 保健センター4	病院 1 保健センター 2
高齢者のケア施設 (2015, 4/1)	介護老人保健施設 5 通所介護施設 47 特別養護老人ホーム 8 訪問看護事業所 14 訪問介護事業所 39	無し デイケアセンター建設構想進行中 隣町に全国12か所にある特別養護老人ホームの1つが存在する。

2. 地域で支える高齢者ケアの体制（佐久市）

1. 地域包括ケアを2025年までに構築
2. 行政と地域の連携による4つの視点・支援





2. 地域で支える高齢者ケアの体制（サンスク町）

1. タイ、第2次国家高齢者ケア計画（2002-2021）

5つの戦略

- 1)質の高い老後の備え
- 2)健康増進
- 3)社会保障制度の充実
- 4)関連システム、人材の整備
- 5)政策の検証・施策の実施

自助・互助
共助・公助

“具体的な対策は、地方自治体へ任されている！”



プロジェクトの概要

目標: 佐久市の高齢者ケアの経験をサンスク町と共有し、今後の対策への提言、
佐久市もサンスク町から地域の在り方について学ぶ。

1. 住民への健康増進と疾病予防対策
2. 家族および介護者への教育
3. 高齢者および高齢者を持つ家族への支援ネットワークの強化

期間: 2014年11月1日～2015年10月30日

協力組織:

佐久市+佐久大学

+

サンスク町+ブラパ大学

活動のプロセス: 1. 佐久市、サンスク町のデータを収集する。

2. お互いの市、町を訪問し高齢者を取り巻く状況を視察する。

3. データを分析し、活動、政策への提言を行う。

プロジェクト開始： 現地訪問



海岸に沿った町、サンスク町



全国の12施設の1つ、社会福祉開発センター



ヘルスボランティアと共に独居老人を訪問



町の郊外の広大な敷地、隔離的な雰囲気は、日本の養老院を想像させた。

現地の活動



2012年に配布された独居老人宅の緊急ベル - 2015年7月廃止



「高齢者クラブ」の楽器演奏
ブラパ大学看護学部の部屋を開放



7:00-9:00 お寺の境内で早朝体操



障害を持ち、家に閉じこもっていた人が出かけるようになった。



活動から見たこと（2つの地域を比較して）

サンスク町の強み

- ◎家族の絆、隣人とのつながりが強い。
- ◎高齢者のケアは家族、隣人が行っている。
- ◎文化・伝統が地域に感じられる:お寺を中心としたコミュニティの活動(集会、高齢者の機能訓練)が境内で行われている。
- ◎ヘルスボランティア(日本の民生委員に相当、現在501人登録)が地域の福祉を支えている。

サンスク町の弱み

- ◎家族は高齢の両親を施設へ預けることに罪悪感を感じている。
- ◎公的な高齢者用多機能保健施設がない。 ◎訪問看護・介護システムが機能していない。
- ◎住民の健康に関するデータが分析されていない。

佐久市の強み

- ◎介護保険がある。 ◎家族は高齢の両親を施設へ預けることに罪悪感を感じていない。
- ◎公的な小規模多機能型施設、特別養護老人ホーム等多種の施設が整備されている。
- ◎データが良く管理されている。
- ◎訪問看護、訪問介護サービスの質が良い。

佐久市の弱み

- ◎家族の絆、隣人とのつながりが希薄になっている。

“困ったこと”



プロジェクトの開始 — 2014年11月に現地を訪問し、活動 の詳細を協議

- ① 町の保健医療施設に関するデータがない。
- ② 住民の基礎データがない。

データ収集への協力を依頼

- ① 時間がかかる — 2014年11月～2015年5月、約6か月間を要した。
- ② データが変わる。

改善策“百聞は一見にしかず”



- 2015年1月** — ①佐久市の全てのデータを英訳し、
現地へ送付
- ②見本を見て、データの重大さを認識した。
- ③来日(5/13)迄にデータ収集完了を依頼。

サンスク町の関係者(町長以下6名) が佐久市を訪問

- ① 佐久市は、データに基づく政策を説明した。
- ② 各種の施設と高齢者の生活、活動の場面を見学。
- ③ 佐久総合病院祭・医療職による演劇、紙芝居を見学。
- ④ 難病の患者へ対する訪問看護を見学。



考 察 (高齢者(60歳以上)の基礎データ収集)

1. 住民への健康増進と疾病予防対策 (サンスク町)

「ヘルスボランティア30人が

調査した高齢者360人の属性

教育的背景に日本との違い。

基本属性		N=360	
性別			
男性	109 人	30.3 %	
女性	251	69.7	
宗教			
仏教	357 人	99.2 %	
基督教	3	0.8	
教育背景			
非識字者	25 人	6.9 %	
小学校卒	277	76.9	
中学校卒	30	8.3	
専門学校卒	11	4.1	
大学卒	16	4.4	
学士以上	1	0.3	

SPSSによる分析



考 察（高齢者は女性の割合が多い）

1. 住民への健康増進と疾病予防対策（サンスク町）

年齢に関するデータ

年齢範囲 60～96歳	男性(n=109)		女性(n=251)		全体 (N=360)	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD
平均年齢	71.8	± 6.67	71.2	± 7.42	71.4	± 7.19
年齢区分	人	%	人	%	人	%
60～69歳	44	40.4	112	44.6	156	43.3
70～79歳	50	45.9	100	39.8	150	41.7
80～89歳	15	13.8	35	13.9	50	13.9
90歳以上	0	0.0	4	1.6	4	1.1

サンスク町の平均寿命	74歳(男、2012)	佐久市の平均寿命	81.7歳(男、2014)
	83歳(女、2012)		88.0歳(女、2014)
タイ、全国	71歳(男、2012)	日本、全国	80.2歳(男、2013)
	79歳(女、2012)		86.6歳(女、2013)



考 察 (喫緊の課題は慢性疾患対策)

1. 住民への健康増進と疾病予防対策(サンスク町)

慢性疾患に関するデータ

	男性(n=109)		女性(n=251)		全体 (N=360)	
慢性疾患の有無						
有	86 人	78.9 %	207 人	82.5 %	293 人	81.4 %
無	23	21.1	44	17.5	67	18.6

「有」と回答したもの(n=293)						
慢性疾患の種類(複数回答)						
★ 高血圧	62 人	72.1 %	144 人	69.6 %	206 人	70.3 %
★ 糖尿病	30	34.9	70	33.8	100	34.1
★ 脂質異常症(高脂血症)	23	26.7	67	32.4	90	30.7
骨粗鬆症	3	3.5	23	11.1	26	8.9
心血管疾患	12	13.9	9	4.3	21	7.2
慢性腎不全	10	11.6	4	1.9	14	4.8
骨関節炎	0	0.0	14	6.7	14	4.8
痛風	7	8.1	5	2.4	12	4.1
眼疾患/緑内障/白内障	3	3.5	7	3.4	10	3.4
消化管潰瘍	1	1.2	7	3.4	8	2.7
その他	16	18.6	18	8.7	34	11.6

2. 家族および介護者への教育(サンスク町)

家族に関するデータ

	男性(n=109)		女性(n=251)		全体 (N=360)	
婚姻状況						
独身	1 人	0.9 %	25 人	10.0 %	26 人	7.2 %
既婚	96	88.1	116	46.2	212	58.9
死別	10	9.2	98	39.0	108	30.0
離婚/別居	2	1.8	12	4.8	14	3.9
介護者の有無						
有	59	54.1	134	53.4	193	53.6
無	50	54.9	117	46.6	167	46.4

「有」と回答したもの(n=193)						
介護者は誰ですか？						
娘	18 人	30.5 %	61 人	45.5 %	79 人	40.9 %
息子	11	18.6	31	23.1	42	21.8
妻	29	49.2	—	—	29	15.0
夫	—	—	23	17.2	23	11.9
親戚	0	0.0	11	8.2	11	5.7
姪/甥	1	1.7	7	5.2	8	4.1
嫁	0	0.0	1	0.7	1	0.5



考察：

3. 高齢者および高齢者を持つ家族への支援ネットワークの強化

サンスク町と佐久市の共通性：ヘルスポランティア（サンスク町）、民生委員（佐久市）が地域の住民の生活支援、相談を行っている。

- サンスク町：**
- (1) 家族によるケア、隣人による互助は行われている。
 - (2) 家族及び高齢の患者に対する行政による組織的な支援が行われていない。
 - (3) 家族は、高齢の親を施設へ預けることを良し、としない。

佐久市

- (1) 介護保険を適用した介護は良く行き届いている。
- (2) お達者応援団育成塾、認知症サポーター等の研修を修了した住民が地域活動に参加する機会を模索中である。



サンスク町の高齢者への健康対策

1. 骨粗鬆症の無料検査
2. 白内障、緑内障の無料検査、無料手術

佐久市訪問後に改善された地域保健活動



1. 認知症予防プログラム:1回/月 ⇒2回/月へ増やした(例:脳トレーニング、認知機能)
2. 介護システムの基準づくり(Criteria of Long-Term Care System)
ADLのレベルにより高齢者を3つのレベルに分ける。
3. 老人クラブの活動の質を上げる。
4. コミュニティで高齢者の世話をするヘルスボランティアの数と質をあげる。
5. 在宅ケアの良いシステムを作る。ホームヘルスケアを行うため60人のボランティアを教育し、脳卒中患者のリハビリに携わることとした。

ヘルスボランティア活動がより積極的に！



サンスク町訪問時の町長との面談



高血圧予防の講義に参加した高齢者たち



ボランティアによる家庭訪問/脳卒中後のリハビリ



トヨタ財団の支援による「高齢者ケア」事業パンフレット



高齢者生活支援に関するアンケート結果 (N=200)

問1 あなた(ご本人)の年齢を教えてください。

60 - 64歳 63人(31.5%) 70 - 74歳 43人(21.5%)

65 - 69歳 76人(38.0%) 75 - 79歳 18人(9.0%)

問2.あなた(ご本人)の性別を教えてください。

男性 48人 女性 152人

問3.一緒に住んでいるご家族構成を教えてください。

1. 既婚の息子家族と同居 34人(17.0%) 2. 既婚の娘家族と同居 57人(28.5%) 3. 未婚の子と同居 44人(22.0%) 4. ひとり暮らし40人(20.0%)

問4.近所(おおむね15分以内)にあなた(ご本人)の子供や親族は住んでいますか。(1つに○)

1. いる 107人(53.5%) 2. いない 93人(46.5%)



高齢者支援に関するアンケート結果 (N=200)

問6.あなた(ご本人)は、普段、同居の家族以外でどのような方とお付き合いをしたり、連絡をとっていますか。(上位3つ)

1. 1. 隣近所の人 160人(80%) 2. 友人・知人 124人(62%) 3. 親せき 61人(30.5%)

問7.あなた(ご本人)は、普段、近隣や地域の方とお付き合いする機会はどの程度ですか。(上位3つ)

1. ほぼ毎日 127人(63.5%) 2. 週に3~4回程度 56人(28.0%)

3. 週に3~4回程度 8人(4.0%)

問8.あなた(ご本人)の住む地域は、助け合いの力が強いと思いますか。

1. 強い 43人(21.5%) 2. まあ強い 101人(50.5%) 3. ふつう 47人(23.5%)



高齢者支援に関するアンケート結果 (N=200)

問9.あなた(ご本人)の生計手段はどのようなものですか。(上位3つ) 1.就労による収入 69人
(34.5%)

2.子どもなどの家族からの仕送り 69人(34.5%)34%

3.生活保護 35人(17.5%)

問12.あなた(ご本人)は、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。

1. よい 21人(10.5%) 2. まあよい 106人(53.0%)

2. 3. あまりよくない 51人(25.5%)

問14.あなた(ご本人)は、現在、何か病気やケガをかかえていますか。(1つに○)

はい 137人(68.5%) いいえ 63人(31.5%)



高齢者支援に関するアンケート結果 (N=200)

問15. サンスク町の人々の平均寿命は、全国平均より長いですが、その健康の秘訣は何だと思
いますか。(上位3つ)

1. 季節の食材を上手に食べる 128人(64%)
2. まめでまじめなこと 106人(53%)
3. 趣味を持つ 86人(43%)

問16. あなた(ご本人)は、サークル・グループ活動や各種行事、催し物への参加を通じて、社会
とのかかわりを持って生活したいと思いませんか。 1. そう思う 80人(40%)

2. どちらかと言えばそう思う 105人(52.5%)

問17. あなた(ご本人)は、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか。

1. 友人・知人・近所とのつきあい 102人(52%)
2. 趣味の活動 93人(46.5%)
3. 家事 83人(41.5%)



高齢者支援に関するアンケート結果 (N=200)

問18.あなた(ご本人)は、市が生きがいづくり・社会参加に対する取り組みをすすめていくうえで、どのような支援が必要だと思いますか

1. 趣味や娯楽など、サークル等の組織活動への支援 90人(45%)
2. 誰でも気軽に集まったり、活動できる施設、場所の整備 37人(18.5%)
- 3.参加できるボランティア組織活動への支援 22人(11%)

問23.あなた(ご本人)は、今後どのようなサービスを充実していく必要があると考えますか。

- 1.スポーツの場所や交流の場の提供79人(39.5%)
- 2.高齢者世帯の安否確認体制 62人(31%)
- 3.市内の施設(特別養護老人ホーム, 短期入所(ショートステイ)40人(20%)



まとめ

サンスク町への高齢者のための政策提言として：

1. 基本調査の結果から、生活習慣病に対する対策を提案する。
2. 高齢者支援に関するアンケートから、地域活動の場を作るためにどのような地域の施設を活用できるか、地域資源の掘り起しをする。(例:お寺の境内、大学のサークル室以外に学校を地域にオープンできる可能性を探る。)
3. 高齢者世帯の安否確認体制 ーヘルスポランティア、老人クラブの人材活用
4. 市内の施設 (特別養護老人ホーム, 短期入所(ショートステイ)
現在、サンスク町長が構想を持つ「ヘルスケアセンター」の実現を支援する。